ROTARY INTERNATIONAL 2720
第2720地区 Rotary TAMANA RC
玉名ロータリークラブ週報
2022～2023

イマジン ロータリー

R I 会長 ■ ジェニファー・ジョーンズ
地区ガバナー ■ 堀川貴史
会長 ■ 渡邉太朗
幹事 ■ 小山倫生
公共イメージ委員長 ■ 井上幸

例会日 ■ 毎週木曜日／12：30～13：30
例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺50-4　司ロイヤルホテル内
事務局 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺540-1-102

令和5年2月16日　No.2553

玉名RCメールアドレス　jimu@tamanar.club
ホームページアドレス　http://tamanar.club

移動例会　熊本城視察

職業奉仕委員会担当企画例会として「加藤清正と巡る熊本城ツアー」と題して特別に熊本城おもてなし武将隊加藤清正の案内により熊本地震から復旧する熊本城を視察しました。多くの人の仕事により復旧を果たした天守閣の姿や築城の名手として土木の神様と言われる清正公の当時の仕事を紹介していただきました。この移動例会を通じて得た知識等をご自身の職業に生かし奉仕に役立てていただきたいと思います。

〈当日のスケジュール〉

15：20	城彩苑入口集合
15：30～16：15	武将隊と姫による案内 数寄屋丸二階御広間・飯田丸五階櫓跡・二様の石垣・連続升形・本丸御殿・東竹之丸櫓郡・闇通り通路・宇土櫓
16：15～17：00	天守閣見学
17：00～	移動
17：30～	城見櫓にて懇親会

当日の様子を写真にてご紹介いたします。

視察前には熊本市より熊本城復興への寄付に対する感謝状をいただきました。

感謝状受領の様子

写真左から小山幹事、坂本職業奉仕委員長、熊本城総合事務所 所長 田端さん）

おもてなし武将隊の島津義弘・八十姫より場内を案内していただきました。

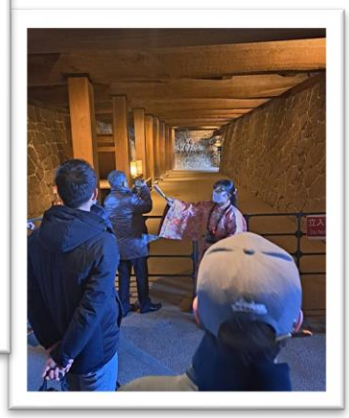
人物紹介

島津義弘

日本の幕末まで影響を及ぼし続けた島津家において「薩摩の鬼」という異名を持つ武将。その強さに幕府が恐れ、島津家とは戦いを避けたほどの実力を持つ。一方、優れた人格と優しさ、義理堅い性格で、数々の逸話を残している。難攻不落の名城・熊本城があるのは、この島津家に睨みをきかせる為であったとも言われている。

八十姫

加藤清正の第五子(次女)として肥後の国で生まれる。
名の由来は、九(苦)がないようにとの両親の願いが込められている。
17歳で、徳川頼宣(徳川家康十男)に正室として輿入れ。後世で、清正公のトレードマークとなる片鎌倉などを持参し、清正の遺品を大切に守り続けた。人気時代劇で有名な八代将軍吉宗にとっては系譜上の祖母にあたる。



～熊本城復興まで～

慶長12（1607）年、茶臼山と呼ばれた台地に加藤清正が当時の最先端技術と労力を投じて、名城熊本城を完成させます。以後、熊本城は400年に亘る日本の様々な歴史の重要な舞台となっていきます。

熊本城の旧城域は約98万平方メートル、周囲約5.3キロメートルの広大な敷地に、大小の天守を始め、櫓（やぐら）49、櫓門（やぐらもん）18、城門29を備えていました。西南戦争直前の火災によって天守を含め、多くの建物を焼失しましたが、宇土櫓（うとやぐら）や東竹之丸（ひがしたけのまる）の櫓群など、築城当時の建物も残っており、13棟が国の重要文化財に指定されています。

昭和35（1960）年に市民からの寄附金も受けながら鉄骨鉄筋コンクリート造で再建された天守は、明治時代初期に撮られた写真などをもとに、瓦の枚数まで忠実に外観復元されました。

平成28年熊本地震では、最上階の瓦や鯱瓦の落下、地下室石垣の崩落などの被害がありましたが、震災復興のシンボルとして最優先で復旧作業が進められ、令和3（2021）年3月に完全復旧しました。新たな天守閣は最新技術による耐震補強やバリアフリーが取り入れられるとともに、展示内容や内装も全面リニューアルされ、より安全に、そして魅力的に生まれ変わりました。

【熊本城の年表】

天正16年（1588）	加藤清正、肥後北半国19万5千石の領主として隈本城（古城）に入る
天正18年（1590）	隈本城の改修に着手
慶長4年（1599）	茶臼山に新城（熊本城）の築城着手か
慶長5年（1600）	関ヶ原の戦い。この頃大天守完成
慶長12年（1607）	新城が完成し、隈本を熊本に改称
慶長16年（1611）	清正、49歳で死去。息子忠広が二代藩主となる
寛永9年（1632）	加藤家が改易となり、細川忠利が肥後へ入国
寛永17年（1640）	忠利、宮本武蔵を招き、現在の千葉城町に屋敷を与える
宝暦5年（1755）	二の丸に藩校時習館開校
明治4年（1871）	廃藩置県
明治7年（1874）	城内が陸軍用地に編入。本丸に熊本鎮台本営が移転
明治9年（1876）	神風連の変
明治10年（1877）	西南戦争。火災で天守・本丸御殿などを焼失
明治22年（1889）	熊本地震（金峰山地震）で被災
昭和8年（1933）	宇土櫓ほか12棟が国宝に、石垣・堀が史蹟に指定
昭和25年（1950）	国宝建造物が重要文化財に改称
昭和30年（1955）	特別史跡に指定
昭和35年（1960）	鉄骨鉄筋コンクリート造で大小天守を再建
平成10年（1998）	熊本城復元整備事業始まる
平成28年（2016）	熊本地震で被災
平成29年（2017）	熊本城天守閣本格復旧に着手
令和3年（2021）	熊本城天守閣復旧完了

視察後には城見櫓にて懇親会が行われました。熊本城を眺める事が出来る絶好のロケーションで食事を楽しみました。
昼はまばゆい陽光をうけて輝く雄姿、夜はライトアップされた幻想的な情景…少しずつ趣の異なる名城の表情を見飽きることはありませんね。皆さまお疲れさまでした。